

春日小学校グランドデザインの検証

令和4年度		令和 5 年度	
①歴史と伝統	○150周年記念事業実行委員会の発足 テーマ『あなたがつないだ150年、みんなでつなぐ「春日愛」』	○150周年記念事業実行委員会の充実 ○春日商店街とのさらなる連携	
②郷土愛にあふれたコミュニティ	☆子どもたちの安全・安心 ○春日小学校の災害対策マニュアル 素案作成 ○子どもたちの安全教育 ・茨木市による「暴力から身を守るワーク」3・4年実施（11月） ・避難訓練（防犯6月）（火災11月） ・防災教室6年（1月） ・非行防止教室5年（1月） ・交通安全教室1年・4年（11月） ○教職員の研修 ・エピペン研修（4月）ロールプレイを取り入れながら ・校内救急救命講習会（6月） ・警察による職員向け防犯訓練（6月） ・防火訓練（12月） ●地域の見守り隊の拡充が進まなかった ☆放課後の子どもの居場所づくり ○現在、放課後子ども教室は土曜日に開催（コロナ禍から2年ぶりに再開） ○現放課後子ども教室の役員会で、今後、平日にも拡充していきたい意向を伝える ●体制づくりや人材の確保が進まなかった	☆子どもたちの安全・安心 ○春日小学校の災害対策マニュアル 策定→基づく安全教育・研修 ○子どもたちの安全教育 ・令和4年度継承 ○教職員の研修 ・令和4年度継承 ◎学校運営協議会・春日小校区地域協議会と連携して、地域の見守り隊の担い手を発掘 見守り隊と子どもたちをもっとつないでいく ☆放課後の子どもの居場所づくり ◎平日実施に向けて、人材の確保、場所の確保、運営体制の確保をめざしていく ◎令和6年に平日に月1回開催をめざしていく	
③保護者や地域との密接なつながりの拡充	☆保護者や地域の方とのつながり ○まちたんけん ○昔遊び体験 ○春日小学校区ではたらく人々との交流 ○戦争体験の講話 ○キャリア教育 ○地域行事の参加 ・地域防災訓練（6月） 上穂積公園 ・地区運動会（10月） ・春日商店街ハロウィン企画コラボ実施（10月） ・地区文化祭（11月） ・西中校区のつどい（12月） ・地域防災訓練（1月） 春日小学校 ●PTA役員のなり手の減少 ☆学校と家庭の連携 ○キャリアパスポートの協力 ○生活習慣を整える（様々な調査で子どもたちの生活習慣が整っていることがわかる） ○児童会を中心としたあいさつ運動 ●SNSなどのトラブル 情報モラルの連携 ●コロナ禍による様々な課題	☆保護者や地域の方とのつながり ・令和4年度継承 ◎春日商店街との連携をより強めていく ◎PTAの担い手が増えるよう、学校のことを発信する機会を増やす ☆学校と家庭の連携 ・令和4年度継承 ○SNS問題など PTAとコラボして講演会を検討	
④主体的に協働して学び合う集団	☆主体的で対話的な学習の推進 ○年間3本の研究授業（講師 京都女子大 水戸部教授） ・水戸部教授や茨木市教育委員会から高い評価を受ける ・学力学習状況調査等に大きく反映されている ・すくすくウオッチに大きく反映されている ☆2030年を見据えた力の育成 ○学びのプランの作成 ☆児童自身が学習計画を立て、振り返りを行える学び方の推進 ・普段の学習でも振り返りをできるだけ取り入れる ●指導と評価の一体化をめざした授業づくり	☆主体的で対話的な学習の推進 ○年間3本の研究授業（講師 京都女子大 水戸部教授） ・令和4年度継承 ☆2030年を見据えた力の育成 ○学びのプランのブラッシュアップ ☆児童自身が学習計画を立て、振り返りを行える学び方の推進 ・令和4年度継承 ◎指導と評価の一体化をめざした授業づくりの推進	

⑤ 様々な人権課題に取り組む集団	○先生と子どもたちのめざすクラス像の共有化 ・夏休みの研修で教員が自分のめざすクラス像と具体的なてだてを全員で交流する ○系統だった人権学習の推進 ・カリキュラムマネジメントを見据えて調整中 ●HP等で系統性を紹介できることをめざしていく ○もちあじ学習の研究授業（講師 大阪多様性教育ネットワーク 沖本和子先生） ○児童自身が学習計画を立て、振り返りを行える学び方の推進 ・行事（運動会等）での目標を立て、振り返りを行うことで自分の成長を見つめなおす	○先生と子どもたちのめざすクラス像の共有化 ・令和4年度継承 ○系統だった人権学習の推進 ◎系統性を整理し、視覚化を図る ○もちあじ学習の継続（講師 沖本和子先生） ○児童自身が学習計画を立て、振り返りを行える学び方の推進 ◎行事（運動会等）での目標を立て、振り返りを行うことで自分や友だちの成長にきづくことができる児童の育成
⑥ ともに学びともに育つ支援教育の充実	☆学習環境のユニバーサルデザイン化 ・春日スタンダードの各教室の定着率 ほぼ100% ・1年生でMIMを全学級取り組む ・1, 2年生でビジョントレーニング・リスニングトレーニング ☆授業のユニバーサルデザイン化 ・西中校区合同授業研 公開授業（12月） （講師 関西大学非常勤講師 森田先生） ・校内研修 通常学級における支援教育 （1月） （東京都立矢口特別支援学校 川上先生） ・校内研究授業 （2月） （茨木市教育委員会 学校教育推進課 参事 和田先生） ○先生と子どもたちとの障がい理解教育の推進 ・各学年の取り組み	☆学習環境のユニバーサルデザイン化 ・令和4年度継承 ☆授業のユニバーサルデザイン化 ◎通常学級における支援教育の推進 ・教員の授業力の向上 ・児童理解、障がい理解を深め、アセスメントや手立てがきちんと行える教職員集団の育成 ・学校としての授業ルールの作成 ・校内研修、校内研究授業の充実 （東京都立矢口特別支援学校 川上先生）2023年7月21日 （茨木市教育委員会 学校教育推進課 参事 和田先生）
⑦ 中・小・保・幼・こども園との緊密な連携	☆西中校区の連携 ・合同研修（7月・12月） ・定期的に教務会を行う ○中学校との連携 ・中学校から定期的に小学校に教諭が来校 ・職場体験（コロナ禍で中止） ・連合運動会、連合水泳大会に向けて中学校の陸上部、水泳部による指導（コロナ禍で中止） ・児童会、生徒会とのコラボ活動（コロナ禍で中止） ○小・小連携 ・連合運動会 ○保・幼（認定こども園）・小連携 ・春日保育所、西幼稚園に教員が複数回訪問、参観 ・西幼稚園の園内研修に参加（教員数名） ・春日保育所、西幼稚園とスタートカリキュラム合同研修（R3. 3月） ●私立の園所との連携は進まず ☆スタートカリキュラムの推進 ・令和4年度スタートカリキュラムを立て実施	☆西中校区の連携 ・令和4年度継承 ◎中学校との連携 ・中学校から定期的に小学校に教諭が来校 ・職場体験 ・連合運動会、連合水泳大会に向けて中学校の陸上部、水泳部による指導 ・児童会、生徒会とのコラボ活動 ○小・小連携 ・連合運動会 ◎保・幼（認定こども園）・小連携 ・春日保育所、西幼稚園に教員が複数回訪問、参観 ・西幼稚園の園内研修に参加 春日保育所に教員による保育体験 ・春日保育所、西幼稚園とスタートカリキュラムについての意見交流 ●私立の園所との連携は令和6年以降に検討 ☆スタートカリキュラムの推進 ・前年度のものをブラッシュアップして令和5年度スタートカリキュラムを実施